

ボランティア通信 2019. 8 Vol. 232

な か ま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@eto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ジェスチャーを交えながら手話表現に子どもたちも真剣な眼差しで応える



令和元年度の初挑戦を手話「さつき」に声掛けをいただき、手話カルタを行いました。子どもたちのドキドキが私たちに伝染してのスタート！表わす手と顔の表情が子どもたちに伝わりだすと、次は子どもたちが表現者となり全員が円の中のカードを取り出すというにぎやかな状況になり、参加したろう者たちにも笑顔が絶えず時が過ぎました。参加してくださった親御さんからも活動目等を聞かれ、お待ちしていますよと。帰り際に、指文字で名前を表したがる子どもたちも。子どもたちの順応性の速さがうれしかった。ありがとうございました。

先日のおもちゃ作りのイベントや準備会に参加の方は、ものづくりの好きな人が多く長時間の作業にも集中して取り組んでくれました。

23日のニュースポーツのスカイクロスミニでは終了後、「もつとしたい」の声に楽しんでもらえたのだと嬉しく思いました。この体験が後にボランティア活動につながればと願います。

夏の体験プログラムは8月末まで実施しています。初参加の方、他のボランティア活動に触れてみたい方はボランティアセンターまでご一報ください。お待ちしております。

おもちゃ作りと準備会 スカイクロスミニで協力



スカイクロスミニに興じる子どもたち

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(Tel 8 9 4 - 3 7 3 7)
(Fax 8 9 1 - 3 3 4 0)

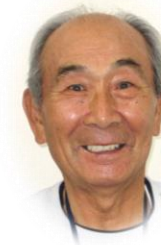
夏のボランティア体験プログラム

手話カルタ・スカイクロスミニで盛り上がる

社会福祉協議会では7月から8月にかけて夏のボランティア体験で28のプログラムを開催しています。今回はボランティアグループ連絡会の参加協力をいただいています5つのプログラムから、7月23日(火) ゆうゆうセンター3階で実施しました、ボランティアグループ「さつき」による手話カルタ・「玉手箱」のスカイクロスミニの模様を紹介します。子どもの熱気が会場一杯に拡がりました。

ろう者と手話カルタで繋がる

ボランティア インタビュー76 中井源一さん(個人登録)



かざぐるま・移送
ボランティアを
卒業後は個人登
録で活動中です。

ボランティアを始められ
たきっかけは

企業を定年後、一年ほど遊んでいましたが、自分のために、地域のために何かをやるうと思いい立ち、まず交野市シルバー人材センターを訪問した際に、隣にボランティアセンターがあったので顔を出したところ、当時のコーディネーター木本さんにボランティアグループ「かざぐるま」を紹介いただき、これならできると確信が持てました。

楽しくできた活動

「かざぐるま」での活動は、病院への送迎が多く苦労したところとありますが、見知らぬ場所やイベントへの付き添いなど、新たな発見もあり好い刺激になりました。でも車での移動がいろんな制約で難しくなり、活動の

幅が縮小されたのは残念です。その後、移送ボランティアを数年やりました。

地域でもボランティア

「かざぐるま」での活動だけでなく、地域でも学童の見守りや青パト活動、元気アップ体操などにも参加し、地域の居場所づくりに頑張っています。元気アップ体操は市内各地でもやられています。もつと広がることを願っています。

家内の協力に感謝

ボランティアをはじめて20年になります。これだけ続けられているのは、利用者さんの「ありがとう」もその一つですが、黙って見守ってくれた家内の存在も大きく感謝、感謝です。

新しいことに挑戦を

いまボランティア活動が曲がり角に差ししかかっているように思います。連絡会も各グループも新しいことに臆せず挑戦することを期待したいです。

リーダー会議(7月23日)

☆会長挨拶(省略)

☆連絡会より

・リーダー親睦交流会会計報告
6月25日に実施した「おりひめ給食センター」見学の会計報告を行いました。

・第28回交野市健康福祉フェスティバルの開催に向けて、8月6日にフェスティバルの実行委員会が審議され大綱が決まる予定です。

・その決定を受けて8月28日(火)午後1時30分からV連の実行委員会を開催します。

・ボランティアの活性化に向けた研修交流会の開催について開催の意義や目的について討論し、今回は外部講師による講演会とする。そして市民にも広く参加を呼びかけ、ボランティアへの関心を高めていくことで具体化を進める。

☆ボランティアセンターから

・印刷機の使用法について印刷枚数について少量印刷は、機械のトラブルにつながるため、11枚以下は印刷できない設定にしています。

・8月5日(月) 10時30分からセンターで消防訓練を行ないます。

編 集
後 記

ラジオ体操



おはようございます。

出会う人ごとに声をかけ広場に向かう。二年前に転居してきて以来、地域のラジオ体操に参加し終了後20〜30分のウォーキングが日課となりました。当時、大きなお腹で参加されていた女性が、いまでは二歳になった女兒を連れて毎朝来ておられる。また昨年の夏休みから休まず参加している女子児童、この可愛いマスコットアイドルの彼女たちとの出会いも楽しみの日々です。

爽やかな早朝の空気は清々しく、広場には地域の方々や丹精を込めて植えられた季節の花々に癒やされます。この時季に咲く大輪のひまわりに、今朝もおはようと声をかけました。

高齢になり、何かと日常生活でも制限が増える暮らしになつてきますが、健康維持を心がけ、今日も元気で楽しく過ごせるようにと祈る毎日です。

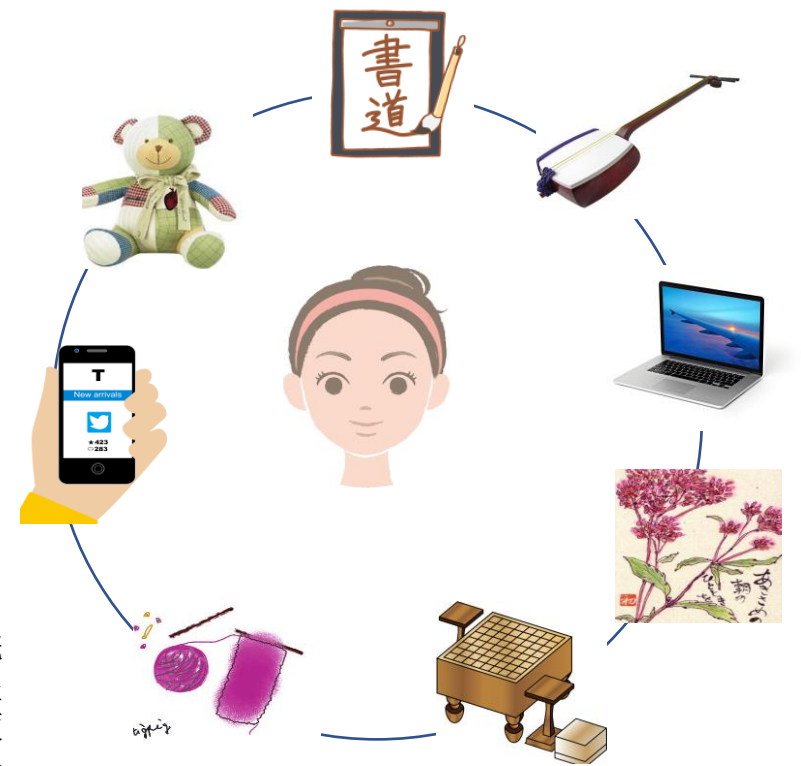
(セブン)

特技ボランティア募集！

あなたの特技や、これまでに培った技術を活かして、活躍しませんか？

最近、ボランティアセンターに将棋を指してくれる人を紹介してほしいとか、パッチワークを教えていただけないかという依頼がきます。このようなニーズに応えるために、既存のグループ活動の枠を超えて、各々の特技や技術を活かしたボランティア活動の必要性が高まってきました。

既に連絡会や登録グループで活動されている方の個人活動も可能ですので、ご連絡をお待ちしています。初めてボランティア活動をされる方は登録手続き後、依頼が発生した時にボランティア保険に加入になります。まずはお気軽にボランティアセンターまで



特技の一例・・・

将棋・編み物・演芸・技芸披露、絵手紙・三味線・俳句・書道・パッチワーク・パソコン・スマホの操作等

その他こんな特技があるよ！という方はボランティアセンターにご連絡ください。

大阪 880万 訓練
Osaka 8.8million drill
9月5日 木 11時 訓練実施
11時03分頃 大津波警報発表
(訓練用のメールが携帯電話等に届きます)



大阪府広報担当副知事
もずやん

地震が起きたら **まずは身を守る**
揺れがおさまったら **津波に備えてすぐ逃げる**

府内の一人ひとりが、事前に考え、行動し、再確認していただくために実施する訓練です。

訓練前 地震津波が発生したときにどのような行動をするかを考えておく

訓練当日 考えておいた訓練行動をする

訓練後 地震や津波が発生したときに命を守る行動ができるか再確認する

府民問合せセンター TEL 06-6910-8001

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig-top/>)

ボランティアグループ連絡会
8・9月の活動予定

「8月」

5日(月) なかま232号発行
Vセンター消防訓練

20日(火) 役員会

27日(火) リーダー会議

28日(水) ふれあい広場・実行委員会

29日(木) なかま233号校正

「9月」

2日(月) なかま233号発行

4日(水) 大阪府市町村V連絡会
テーマ別研修会

17日(火) 役員会

19日(木) ボランティアサロン

24日(火) リーダー会議

短冊に願いをこめて

「ほほえみ」では、毎年七夕祭りの前の活動日には笹飾りを作って楽しんでいます。活動日前日にボランティアセンタ―に竹を運び込んでおいたら、朗読グループ「あい」の方も短冊を書きたいと言ってくださって、2グループ共作で賑やかになりました。みんなの願い事がかなえられますように。



天神祭クライマックス直前にダウン

大阪夏の風物詩の一つに数えられる天神祭。十数年ぶりの見物である。約100隻の舟が大河を行き交う「船渡

御」、氏子らに乗せた船団が夕刻6時頃、鉦や太鼓を鳴らしながら天神橋と飛翔橋から出発した。

毎年130万人が訪れる大祭であるが、今年ほどのくらい賑わったのか判らない。でも外国人観光客が増えているのは実感できた。久しぶりの祭り見物で疲れを感じ、花火が上がる直前に退散する羽目になった。体力の衰えを感じた天神祭であった。(K記)

トランプ4つのマーク？

トランプの4つのマークは何を表しているのか、ご存じの人が多いと思うが、そうでない人のために紹介しよう。

♥ ハートは聖杯の形のシンボルであり、僧侶を表す。

♣ クラブはこん棒で、それを使って仕事をする農民を意味する。

♦ ダイヤは紙幣の象徴であり、商人を表現している。

♠ スペードは剣を意味し、軍人を表す。

みんなのひろば

お供え物のナスとキュウリの意味は



お盆のお供え物について、地域によって特色があるが、ナスとキュウリを飾る地域が多い。またナスとキュウリは精霊馬として飾られ、キュウリは足の速い馬と見立てられ、ご先祖様が早く帰ってくださるよう迎え火の時に置く。ナスは牛に見立てた乗り物で、ご先祖様に少しでも長く過ごしていただくよう送り火の際の乗り物になるという。

しかし地域によっては全く逆のところもあるし、風習自体がないところもあっておもしろい。(TB)

お盆の過ごし方を考えよう

お盆は盂蘭盆会、盂蘭盆とも言われ、古くは貴族や武士、僧侶などの上流階級の行事であったが、江戸時代になるとお盆の風習が庶民の間にも広まった。その理由の一つに仏壇や提灯に欠かせない「ろうそく」が安価で大量生産が可能になったから、ろうそくの普及が大きいのとも言われている。

お盆は、宗教・宗派や地域によって独自の発展を見せ現在に至っている。七夕

をはじめ、京都の五山の送り火や、長崎の精霊流しなどもお盆の行事にあたる。